

運動部活動に所属する生徒の皆さんへ

同じ志をもつ仲間と共にスポーツに取り組むことを通じて、日々心と体を鍛え、目標に向かって努力を重ねてきた運動部活動に所属する生徒の皆さんにとって、2月中旬からの新型コロナウイルスの感染拡大は想定外の出来事であり、学校の臨時休業や部活動の制限など、皆さんの日常生活にも大きな影響を与えていることと思います。

そのような状況の中、日本中体連は今年の夏の全国中学校体育大会の中止を決定しました。それを受けて、北海道中体連も夏の全道大会を中止し、管内大会や地区大会も中止するようお願いしました。いつどこでクラスター感染が起きるか分からない状況の中、中体連の大会を行うことは難しく、生徒の皆さんはもちろん、大会に関わる多くの方々の健康と安全、そしてかけがえのない生命を守ることを第一に考えた上での判断です。

中体連大会を目標として練習に励み、努力を重ねてきた皆さんにとって、大会の中止は、つらく、悔しく、悲しい知らせと思います。しかし、スポーツの本当の楽しさや喜びは、大会での勝敗や記録・表現の良し悪しなどの結果だけではありません。そこに至るまでの過程における様々な成功や失敗の経験、そして、スポーツの喜びを共に分かち合い、感動を共有してきた様々な人と人とのつながりこそがスポーツの素晴らしさと言えるのではないのでしょうか。

一人では乗り越えるのが難しい困難も、道内約 600 の中学校で運動部活動に励む7万人余りの仲間となら一緒に乗り越えることができます。北海道のスポーツを愛する中学生全員の力を合わせて、新型コロナウイルスの感染を終息させるために、3密を避けること、手洗いや咳エチケットの徹底など今、自分にできることにしっかり取り組んでください。

次のステージにおいて、多くの仲間と共にスポーツの楽しさや喜びを味わえるようになることを心から楽しみにしています。

令和2年（2020年）5月

北海道中学校体育連盟 会長 中山 明彦（札幌市立月寒中学校長）

釧路地区中学校体育連盟 会長 伊藤 晃一（釧路市立共栄中学校長）